

九条科学者の会 2023年6月講演会 オンライン開催

安保三文書・実質改憲のうごきのなかで すすむ日本全土の基地化

昨年12月に閣議決定された安保3文書は、歴代自民党政権が守ってきた「専守防衛」を投げ捨て、5年間で43兆円もの防衛費により、トマホークなど長距離ミサイルやF35B戦闘機を搭載できる空母など、攻撃型の兵器を備え、敵基地攻撃能力（反撃能力）を保有する軍事大国をめざす道を突き進むことを明らかにしました。米軍と自衛隊が一体化した全土の基地強化の実態について、お二人の講演で明らかにし、憲法9条を守る運動の道を探りたいと思います。

講演1: 日本の基地問題と憲法

やまぐちなおみ

山口真美さん(弁護士、三多摩法律事務所)



中央大学法学部卒業 2001年10月弁護士登録。東京都立川市の三多摩法律事務所所属。自由法曹団常任幹事。取り扱い事件は、新横田基地爆音訴訟、過労死事件、労働事件(解雇、不払残業代請求、パワハラ等)、一般民事・家事など多数。共著に、『市民に選挙をとりもどせ』(大月出版)、『これが秘密保護法だ 全条文徹底批判』(合同出版)、『徹底解剖 イチからわかる安倍内閣の集団的自衛権』(合同出版)、ブックレット『国民投票法=改憲手続法の「からくり」』(学習の友社)。

講演2: 琉球弧の軍事要塞化と憲法

たからさちか

高良沙哉さん(沖縄大学教授、憲法学)



北九州市立大学大学院社会システム研究科修了(博士(学術))、2011年より沖縄大学人文学部福祉文化学科教員。沖縄大学人文学部教授。専門:ジェンダー、憲法学。著書・論文に、『慰安婦問題と戦時性暴力』(法律文化社)、「琉球/沖縄差別の根底にあるものは何か」(『沖縄問題』の本質』平和研究54号、2020年5月)、「沖縄を舞台に進む日本の軍事化」(『琉球』77号、2020年7月)、「安保関連3文書改定と沖縄」(『法と民主主義』576号、2023年2月)。

2023年6月25日(日)14:00~16:30

Zoomによるリモート開催です。受付は5月25日から開始。定員90名、先着順。
申込み:氏名、連絡先(電話番号)を記して m2-office@9-jo-kagaku.jp にメールし、ログイン情報を受け取り下さい。

参加無料、カンパ歓迎

主催 九条科学者の会(「九条の会」アピールを広げる科学者・研究者の会)



〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 HYビル(茶州ビル)9階
電話・Fax. 03-3811-8320 E-mail: m2-office@9-jo-kagaku.jp

ホームページ: <http://www.9-jo-kagaku.jp>

カンパ送り先: ゆうちょ銀行 振替口座 00100-3-500621 加入者名 九条科学者の会